

## ■ 甲子園で頂点 仙台育英野球部監督 須江航(八戸出)

「八戸には思い出が  
たくさんあります」と

1、3年には学生コー  
チを務めていた。

須江は藤木の「八戸  
は野球に熱中するため

には好都合でもあつ  
た。冬場はきつく、朝

自らバットをスイングし、指導する  
仙台育英野球部須江航監督

切り出したのは、先月  
22日、第104回全国  
高校野球選手権大会で  
初優勝を果たした仙台  
育英学園高(宮城)野  
球部監督の須江航(39)

と面談したのが、当時  
の八戸大野球部監督の  
藤木豊だった。東北高  
時代の先輩である仙台  
育英の佐々木順一朗監  
督(当時)から、須江

に強めてほしい。これ  
に関わってくれ」とい  
う熱意と、恩師・佐々  
木に背中を押され、2  
002年4月、八戸大  
に進む。

そして、何より驚い  
たのは藤木監督の指導  
力だった。須江が在学  
中に八戸大は全日本大  
学野球選手権大会ベス  
ト8、ベスト4と勝ち  
進んでいった。知名度  
のない八戸大が全国区  
のトップクラスに駆け  
上っていく過程をつぶ  
さに目撃したのだ。

選手育成なども藤木  
さんに学びました」と  
真剣な表情で話す。  
練習と勉強に明け暮  
れた八戸生活だった  
が、当然、休息もあつ  
た。種差海岸の散策、  
白浜で海水浴、本八戸  
駅で降りて、三日町の  
デパートや洋品店巡り  
を楽しみ、何度も通つ  
た中華料理店もあると  
いう。

だ。東北勢が春夏の甲  
子園を含めて頂点に立  
つのは史上初でもあ  
り、涙した八戸市民も  
多いのではないだろう  
か。

を推薦されたのだ。1  
999年、監督就任以  
来、野球部強化を促進  
してきた藤木は「選手  
だけではなく裏方にも  
いい人材がほしい」と、  
須江に八戸大への進学  
を勧めた。

ところが、その環境  
は藤木監督の指導  
力だった。須江が在学  
中に八戸大は全日本大  
学野球選手権大会ベス  
ト8、ベスト4と勝ち  
進んでいった。知名度  
のない八戸大が全国区  
のトップクラスに駆け  
上っていく過程をつぶ  
さに目撃したのだ。

須江は最後にしみじ  
みとこう言った。「優  
勝の間、八戸でお世  
話になった人たちの顔  
も浮かびました。八戸  
は今の人生に踏み出す  
一歩になってくれた大  
切な場所。いつまでも  
心の中にあります」

※敬称略  
(石橋春海)ライタ  
1、八戸市出身、横浜  
市在住)

続  
おらホが  
主役だ!

南部愛こそすべて

〈47〉

# 八戸生活 人生の一歩に

この快拳を成し遂げ  
た仙台育英ナインを率  
いる須江は八戸大(現  
八戸学院大)の22期生  
である。埼玉県出身で、  
小学生時代から野球少  
年。県内の中学から仙  
台育英に進学し、野球  
部に入部した。だが、  
2年からマネージャ

として来た須江は「海  
近くの山の中。一番近  
くのコンビニまで徒歩  
1時間」という辺鄙さ  
に驚き、「とんでもな  
い所へ来た」と思っ  
た。

この体験は、後の須  
江にも生かされたとい  
う。「野球に懸ける情  
熱と勝負師としての采  
配ぶり、チーム運営、

須江は最後にしみじ  
みとこう言った。「優  
勝の間、八戸でお世  
話になった人たちの顔  
も浮かびました。八戸  
は今の人生に踏み出す  
一歩になってくれた大  
切な場所。いつまでも  
心の中にあります」

選手育成なども藤木  
さんに学びました」と  
真剣な表情で話す。  
練習と勉強に明け暮  
れた八戸生活だった  
が、当然、休息もあつ  
た。種差海岸の散策、  
白浜で海水浴、本八戸  
駅で降りて、三日町の  
デパートや洋品店巡り  
を楽しみ、何度も通つ  
た中華料理店もあると  
いう。

※敬称略  
(石橋春海)ライタ  
1、八戸市出身、横浜  
市在住)